

とちぎ高等教育推進まちづくり会議

平成30年度の取り組み状況等について

1 とかち高等教育推進まちづくり会議の会議開催経過等について

■ 会議開催

- ◇ 平成30年 4月24日 ・第1回企画・事業部会開催
副部会長の選任について、平成30年度総会議案等について ほか
- ◇ 平成30年 5月23日 ・とかち高等教育推進まちづくり会議総会開催
平成29年度事業報告・決算及び監査報告、平成30年度事業計画・予算（案）決定
- ◇ 平成30年10月 2日 ・第2回企画・事業部会開催
部会長の選任について、今後の取り組みについて ほか
- ◇ 平成30年11月30日 ・第3回企画・事業部会開催
人材活躍の場・環境づくりについて ほか
- ◇ 平成31年 2月 1日 ・第4回企画・事業部会開催
全国における取組事例について ほか
- ◇ 平成31年 2月 8日 ・第5回企画・事業部会開催
若者の地元定着と地域課題解決の促進について（講演）
演題：「地域連携型の学生教育について」
講師：株式会社ミライノラボ 代表取締役 CEO 田島 翔太 氏
取締役 COO 阿部 厚司 氏

■ 食品安全管理のスペシャリスト人材養成に関する意見交換会

部会における検討の基礎として、食品安全分野の人材育成の取り組みの方向等について、関係機関と協議を行った。

[メンバー] 帯広畜産大学、とち財団、帯広市（政策室・工業労政課）

- ◇ 平成30年 4月 9日
- ◇ 平成30年 4月 26日
- ◇ 平成30年 6月 7日
- ◇ 平成30年 7月 25日
- ◇ 平成30年 11月 28日
- ◇ 平成31年 3月 22日

■ 食品安全分野の人材育成事業の実施

上記意見交換会での議論を踏まえ、関係機関が連携し、優先度が高い指導者・支援者等の育成に取り組んだ。

- ◇ 平成30年 8月 30日～31日

○ HACCP 支援者・指導者等研修

[主 催] とちち高等教育推進まちづくり会議

[共 催] とちち財団、JAネットワーク十勝、十勝ふるさと市町村圏帯広ブロック実行委員会

[会 場] 十勝産業振興センター

[参加者] 17名

[内 容] 危害要因分析、HACCP 構築の実務、支援・指導の要点 など

- ◇ 平成30年 10月 9日

○ 十勝地区におけるHACCP システム構築の標準的な支援方法に関する研修

[主 催] 帯広畜産大学

[会 場] 帯広畜産大学地域連携推進センター

[参加者] 11名

[内 容] HACCP システム構築等の支援に関する留意点 など

■ 要望活動・視察等

◇ 平成30年 7月

○ 文部科学省高等教育局 ほか

帯広畜産大学の整備拡充に向けた要望活動

[要望] 運営費交付金の確保・・・運営費交付金、第3期中期目標・中期計画の推進に向けた機能強化促進に係る経費 など
教育研究施設の整備・・・畜産フィールド科学センターなどの施設整備への支援措置

◇ 平成30年 11月

○ エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社

食品安全マネジメント教育に係る情報収集

○ IRCA ジャパン

食品安全マネジメント教育に係る情報収集

○ 株式会社ミライノラボ

学生の地元定着・地域課題解決の取り組み（文部科学省 COC+事業）に係る情報収集

◇ 平成30年 12月

○ エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社

食品安全マネジメント教育に係る情報収集

2 帯広畜産大学と帯広市による主な連携事業等について

(1) フードバレーとかち人材育成事業

■事業内容

- ◇ 「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」（文部科学省補助事業、H19～23）で培ったノウハウを活かし、チャレンジ精神等を持って企業経営、異業種参入、起業化などの企業の発展、ひいては地域の経済発展に寄与するようなリーダーシップを発揮する人材を育成する。

■平成30年度カリキュラム

- ◇ ビジネスコース 受講者数 36 名
【ねらい】新事業へのチャレンジや企業活動の効率化、競争力向上に必要な基礎的・応用的知識の習得
【内容】地域産業活性化に向けた経営論・実習、企業戦略論・実習
- ◇ 食品安全管理コース 受講者数 13 名
【ねらい】食品衛生管理に関する知識及び実技の習得
【内容】食品有害微生物講習（初級）
- ◇ 農業生産者コース 受講者数 73 名
【ねらい】農業者、支援団体、農業関連企業のニーズに合わせて開講
【内容】GAP（農業生産の工程管理）に関するセミナー
- ◇ 特別講演・講習 受講者数 120 名
【ねらい】食・農畜産業に関する最新の話題や技術を紹介するとともに、本事業における取り組みや成果を周知する
【内容】農業経営者向け経営戦略セミナー ほか

○ このほか、修了生を対象とした事業化・課題解決支援や、道内3大学（北見工大、東京農大、畜大）の連携による、合同特別セミナーを実施。

(2) 馬のいるまちづくり共同事業

■事業内容

- ◇ 帯広畜産大学の知見を活かしながら、馬を活用した様々な活動による教育・研究・社会貢献の充実などの地域貢献とともに、人材の育成に努め、ひいては馬の研究拠点として地域の発展につなげることを目指す取り組み
(平成26年度より実施。ただし、障害者乗馬は民間団体に委託しながら以前より実施していたもの。)

■平成30年度の主な事業

- ◇ 障害者乗馬：知的障害児を中心に、馬のふれあいや、乗馬教室を実施（平成30年度参加人数：延21名）
- ◇ 適応指導教室の乗馬体験：不登校児らを対象とした教室のカリキュラム内で乗馬体験を実施（平成30年度参加人数：延7名）
- ◇ その他、イベントの共催（ちくだい馬フォーラム2018）による市民への取り組み周知

(3) 若者が牽引するしごとづくり・まちづくりプラン推進事業

■事業内容

- ◇ 学生（ひと）が主体となって地域のしごとづくり、まちづくりに貢献するための事業を帯広畜産大学と連携して推進し、地域産業の競争力強化、中心市街地活性化等の地域振興に資するとともに、学生の地域愛を醸成して大学卒業・大学院修了後も十勝・帯広の応援団として一層活躍できる地方創生循環モデルを構築するものである。（平成27年度より実施）

■平成30年度の主な事業

- ◇ 地元企業と学生との共同研究を通じた地域産業強化支援（「高齢繁殖ヒツジを用いた新規畜産加工製品の開発」 外7件）
- ◇ 学生活動の展開による地域活性化支援（ちくだいらんぷい）
 - 学生の地域理解の向上と自主性の獲得を目的とした学習環境の整備（キャリア教育、特別講義）
 - 十勝・帯広における学生活動の展開による地域活性化支援
 - ・ちくだいらんぷいプロジェクト（「タルタル祭り」などの学生企画事業 計12件）
 - ・十勝ジנגリスカン会議開催（平成30年8月31日、約800名来場）

(4) その他 帯広畜産大学の主な動き(平成26年度以降)

- ◆平成26年11月12日 米国ウィスコンシン州立大学マディソン校と学術交流協定を締結
- ◆平成27年4月 十勝カレッジ SILO(サイロ)開始
- ◆平成27年4月 グローバルアグロメディシン研究センター開設
- ◆平成27年8月 産業動物臨床施設竣工
- ◆平成28年4月 第3期中期目標・中期計画期間の開始
- ◆平成28年8月10日 十勝毎日新聞社と包括連携協定を締結
- ◆平成28年10～12月 道東・十勝・帯広国際協力拠点設立20周年記念事業への参画
- ◆平成28年12月 「パラグアイオフィス」設置
- ◆平成28年12月 畜産フィールド科学センターの搾乳施設及び屠畜・解体施設がISO22000:2005の認証を取得
- ◆平成29年1月 帯広畜産大学公式ロゴマークの採用
- ◆平成29年3月 原虫病研究センターと動物・食品検査診断センターが試験所能力を国際的に証明するISO/IEC17025:2005の認定を取得
- ◆平成29年4月10日 リベラルアーツ講演会開催
- ◆平成29年9月 ポーランドの国立研究所およびヴァルミアマズーリー大学と学術交流協定を締結
- ◆平成29年11月21日 「食シンポジウム@畜大～十勝地域における帯広畜産大学の役割を考える～」開催
- ◆平成29年12月5日 日本ハム株式会社と包括連携協定を締結
- ◆平成30年2月 研究シーズ集を公開
- ◆平成30年5月29日 北海道内国立大学法人(小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学)の経営改革の推進に関する合意書を締結
- ◆平成30年12月4日 障がい者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰を受賞
- ◆平成31年2月7日 タイ王国チュラロンコン大学と学術交流協定を締結